

展覧会パスポート

各展覧会会場に一度ずつご入場できるチケット

一般 | ¥3,500 学生 | ¥3,000

単館チケット

各施設の展覧会のみにご入場できるチケット

大阪文化館・天保山
一般 | ¥2,500 学生 | ¥2,000

船場エクセルビル
一般 | ¥1,500 学生 | ¥1,500

山王ハモニカ長尾
一般 | ¥500 学生 | ¥500

販売窓口

チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス
ArtSticker、KKday ほか

購入はこちらから

大阪・関西万博会場 Expo2025

入場チケット購入はこちらから

※全て税込み価格。
要学生証提示。中学生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで無料
本芸術祭のチケットでは、大阪・関西万博には入場できませんのでご注意ください。
単館チケットについては各会場の受付で販売(キャッシュレス決済のみ)。
一部プレイガイドでも取り扱いあり。

EXPO PLL Talks

アート & インパクト:イノベーターと
共に考えるアフター万博の世界



大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するためのコンセプトの元、2025年の大阪・関西万博に向けて、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と株式会社アートローク(大阪関西国際芸術祭実行委員会)が共同開催をしているトークイベントです。アートやクリエイティブのみならず様々なジャンルでご活躍の方々をゲストにお迎えし、ゲストの活動も通じて、2025年の万博以降に目指したい社会や、アートの持つ可能性について思考を重ねます。

Artist Interview

アーティストインタビュー動画公開中



作家の想いや制作背景に迫る、アーティストインタビュー動画を公開中です。展示では語りきれない言葉や表情をぜひご覧ください。

Partners パートナー

協賛 | Sponsors



協力 | Cooperation



メディアパートナー | Media Partners



[協力・後援]: 外務省 / 経済産業省 / 観光庁 / 駐日ベルギー大使館 / 在大阪イタリア総領事館 / 駐大阪韓国文化院 / プリティッシュ・カウンシル / 在大阪・神戸米国総領事館 / 在大阪オーストラリア総領事館 / 在日スイス大使館 / 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ / ドイツ連邦共和国総領事館 (*Reshaped Reality 展のみの後援) / 在日メキシコ大使館 / セルビア共和国大使館 / 台北駐大阪経済文化弁事処 / 駐日ルーマニア大使館 / ポーランド広報文化センター / 在京インドネシア共和国大使館 / 駐日ブルガリア共和国大使館 / 駐日欧州連合代表部 (EEAS) / 2025年大阪・関西万博 ノルディック・サークル / 2025年大阪・関西万博 オランダバビリオン / 2025年大阪・関西万博 モナコバビリオン / 関西領事団 / 関西広域連合 / 一般社団法人関西経済同友会 / 公益社団法人関西経済連合会 / 大阪商工会議所 / 公益財団法人大阪観光局 / 大阪市此花区役所 / 大阪市西成区役所 / 大阪市港区役所 / 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 / 公益財団法人関西・大阪21世紀協会 / 2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合 / 近畿経済産業局 / 一般社団法人大阪外食産業協会 / 株式会社新澤醸造店 / JR西日本グループ / キヤノン株式会社 / 勝尾寺 / 大阪大学先端の学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にす未来社会研究部門(New-POD) / いのち会議 / 総合地球環境学研究所 / 関西テレビ放送株式会社 / 国立民族学博物館 ※2025年7月11日の情報を元に作成しており内容は予告なしに変更する場合がございます。

主催: 大阪関西国際芸術祭実行委員会 (株式会社アートローク内)
Osaka Kansai International Art Festival Executive Committee (within ARTLOGUE Inc.)

お問い合わせ | Contact

Study:大阪関西国際芸術祭事務局(株式会社アートローク)
531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 5-7-11 アベニュー中津 503
Mail | study@artlogue.org

<https://osaka-kansai.art/>

※最新情報は SNS・公式 WEB サイトにてご確認ください。
Please refer to our SNS・website for the latest information.



公式LINEアカウント

友だち募集中



Study: アートは、社会問題に対して無力か。

Study:大阪関西国際芸術祭

Study:Osaka Kansai International Art Festival 2025

2025.4.11 Fri ————— 2025.10.13 Mon

畑 祥雄 + 江夏正晃 + 江夏由洋(奇跡の森 EXPO'70 - 生成AIによる映像 Ver.2 (映像インスタレーション)) 2025年
*「Re: Human — 新しい人間の条件」展(船場エクセルビル) 出展作品



©Expo 2025

ARTLOGUE



Instagram



X(Twitter)



大阪関西国際芸術祭の
詳細はこちら

アート×ヒト×社会の関係を「Study」する芸術祭

～好きなアートにきっと出会える180日～

About 芸術祭について

Study:大阪関西国際芸術祭は、「アート×ヒト×社会の関係をStudyする芸術祭」です。「ソーシャルインパクト」をテーマに掲げ、文化芸術による経済活性化や社会課題の可視化を目指し過去3回開催。4回目となる2025年は、大阪・関西万博会場(夢洲)をはじめ大阪・関西万博と並行した2025年4月から10月にかけて大阪を中心に関西一帯で開催します。世界中から人が集まるこの機会に、関西発の文化芸術を世界に向けて発信するとともに、ドイツ、韓国、EU(欧州連合)などの機関と連携したアートプロジェクトを通じて、グローバル規模で新たな対話と発見の場を創出します。

Exhibition Programs 展覧会プログラム

第1章 多様な世界へのいざない

Study:大阪関西国際芸術祭 / EXPO PUBLIC ART

会場: **大阪・関西万博会場 Expo2025**

Dates: **4/13-10/13**
9:00-22:00

165の国・地域、国際機関が交わる万博会場内の多様な世界への道しるべとして、また分断された叡智の再統合によって創造的対話を創出するきっかけとするために、万博会場内にパブリックアート(野外彫刻や壁画・ミューラル)を「Study:大阪関西国際芸術祭 / EXPO PUBLIC ART」として展示します。

アーティスト:

奥中章人 | 金氏徹平 | 田崎飛鳥(株式会社ヘラルドビー) | COOK SceNE プロジェクト(地球研) | DONECY | 富長敦也 | 中島麦 | BAKIBAKI ハシグチリントラウ | 檜皮一彦 | ミヤケマイ | 森万里子

※本芸術祭のチケットでは、大阪・関西万博には入場できませんのでご注意ください。



購入はこちらから▶



INTER-WORLD/Cocooner: Apparent motion of celestial bodies



第2章 人・命への考察

リシェイプド・リアリティ:ハイパーリアリズム彫刻の50年

会場: **大阪文化館・天保山**

Dates: **4/11-10/13**
11:00-18:00

安藤忠雄建築を舞台にドイツ研究機関 IKA と共に27組39点のハイパーリアリズム彫刻の身体表現を通して人間の本质とは何かの再考を促します。60年代以降に登場した精巧な人体彫刻から、情報化社会で変化する人間やクローンやキメラ的な人間の表象に至るまで幅広く紹介します。作品は時に鑑賞者を錯覚へ誘い、命の輪郭を揺るがします。人間に関する様々な表象を紹介する本展は、「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマと呼応し、人や生き物、あるいは命そのものへの考察を深めるでしょう。

アーティスト:

ドゥエイン・ハンソン | ジョン・デ・アンドレア | ジャック・ヴァーデュイン | ダニエル・ファーマン | グレーザー / クント | トム・キューブラー | マチルダ・デア・ハイネ | ジョージ・シーガル | ブライアン・ブラス・クレイグ | ロバート・グラハム | ファビオ・ヴィアーレ | キャロル・フォイアマン | マウリツィオ・カテラン | ジェイミー・サーモン | カズ・ヒロ | ヴァルター・カゾット | ロン・ミュエク | サム・ジンクス | ジャルコ・バジェスキ | マーク・サイザン | エヴァン・ベニン | ベリンデ・デ・ブリュッケレ | トニー・マテリ | アレン・ジョーンズ | メル・ラモス | パトリシア・ピッチネーニ | サンティススミ

休館日:

月(祝日の場合は翌火曜、7/21・22 OPEN)

Produced and Organized by ARTLOGUE Inc.
Created and Co-organized by Institute for Cultural Exchange, Tübingen, Germany



Tony Matelli, Josh 2010 © Tony Matelli
Courtesy of the artist and Institute for Cultural Exchange, Tübingen



第3章 都市とアートの関係性

思弁的な音楽 / 物語派

会場: **梅田エリア(JR大阪駅周辺)**

Dates: **4/9-10/13**^{※1}
9/14-10/13^{※2}

※1 サイネージ放映 ※2 LUCUA 大阪(ルクアホール)展示

前回の芸術祭から累計5000人が来場した「拡張される音楽」や「共に在る音楽」を手がけた佐久間洋司は、「社会に行動変容をもたらす『ストーリーテリング』こそがアートの重要な価値の一つだ」と提案しています。善き未来にむけて大阪から若者の行動変容を起こしていくスペキュラティブなアートを、インターネットカルチャーの担い手と共に掘り下げた作品群を梅田エリア(JR大阪駅周辺)で展開します。

キュレーター:

佐久間洋司

アーティスト:

sekai | 中瀬ミル | 梨 | 煮川果実 | 原口沙輔 | フクロク | x0o0x_ (予定)

休館日:

不定期で休館告知

※詳細については公式WEBサイトをご確認ください。



Overview 開催概要

芸術祭全体会期

2025年4月11日[金] - 10月13日[月]

※会場などにより会期が異なります。
フルオープン(万博会場含む)は、2025年4月13日(日)に開幕します。

日韓合同の国際アートフェア「Study × PLAS : Asia Art Fair」

2025年7月21日[月] - 23日[水] *7月20日はご招待のみ

会場 | Venue

大阪・関西万博会場内、大阪文化館・天保山(旧サントリーミュージアム)・ベイエリア、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)、船場エリア、西成エリア、梅田エリア、松原市ほか



会場情報
Venue Information



トイレあり
Toilet

車椅子入場可能
Wheelchair accessible

第4章 変容する街でのアートの可能性

あきらめへんで。釜ヶ崎アートセンター

会場: **ゲストハウスとカフェと庭 釜ヶ崎芸術大学(コロールム)**

Dates: **4/11-10/13**
13:00-19:00

喫茶店のふりをしているアートNPOコロールムが運営する釜ヶ崎芸術大学。無名の人々の表現のありたけとユーモアと工夫で、共創する釜ヶ崎アートセンターを往生際に展開します。船場では期間限定で、釜ヶ崎では365日開催します。

アーティスト:

谷川俊太郎(詩人):コロールムのお部屋「詩人の部屋〜谷川俊太郎が書き、あなたも書く部屋」として出展。| 森村泰昌(美術家)+坂下範征(元日雇い労働者、釜ヶ崎芸術大学在校生):コロールムのお部屋「Our Sweet Home」として出展。| 釜ヶ崎の人々 | 釜ヶ崎芸術大学運営者たち・関わった人々 | 旅人など

休館日:

月(祝日の場合は翌火曜、7/21・22 OPEN)
※コロールム自体は年中無休、10:00~20:00オープン

入場無料

喫茶あたりや

会場: **山王ハモニカ長屋**

山王ハモニカ長屋に新しく喫茶店兼画廊がオープンします。時折、アジアから旅人が去来し、この街の住民たちとお茶を飲んで会話をしています。ここは私たちが失われつつあるものを見つめ、まだ到来しない未来について妄想や夢想にふける場所です。

キュレーター:

プロダクション・ソミア

アーティスト:

ソウチャン・トゥーサン | 吳其育(ウー・チーユ) | トゥアン・マミ | アウン・ミヤツター | キム・ジェミニ | からくり博士 | リン・サン | 六竹 | コックナウ | メッチ・チュレイ&メッチ・スレイラス | プラチ・ピマンマン | シュン・スライマン | オウ・ソウイー

休館日:

月(祝日の場合は翌火曜、7/21・22 OPEN)

※詳細については公式WEBサイトをご確認ください。

リサーチプロジェクト「後継者問題(仮)」

会場: **kioku手芸館「たんす」**

Dates: **4/11-10/13**
13:00-19:00

「NISHINARI YOSHIO」の今後の仮想課題として、後継者問題に焦点をあて、数年に渡るプログレッシブなプロジェクトを2022年に立ち上げました。近年西成地域に急速に増えつつある在日外国人とのプロジェクトを紹介します。

アーティスト:

NISHINARI YOSHIO (西尾美也 + kioku手芸館「たんす」)

休館日:

月(祝日の場合は翌火曜、7/21・22 OPEN)

※4/11~5/6、7/12~8/17、9/20~10/13以外は、水・土・日のみオープン



Programs MAP プログラムマップ

各会場へのアクセスはこちらのGoogleMAPをご活用ください
Please use this Google MAP for access to each venue.



Art Festival Outline Schedule

芸術祭全体スケジュール



Co-Study

サテライトプログラム



「Study:大阪関西国際芸術祭」は、共に運動しながら双方向でアートの輪を広げていくことを目的とした、Study:大阪関西国際芸術祭公式サテライトプログラム「Co-Study(コ・スタディ)」を立ち上げます。芸術祭会期中に、一緒に(Co-)盛り上げるアート企画やイベントを、全国から募集します。本芸術祭と双方向に運動しながら、情報発信の機会を提供します。日本国内には様々なアートの作品・活動があります。「Co-Study」に参加いただくことで、そんな皆さんの活動・表現を少しでもご紹介できることを願っています。

第5章 東西南北、文化の交差する街

Re: Human — 新しい人間の条件

Dates: **4/11-8/24**
13:00-19:00

会場: **船場エクセルビル**

これからの人間とは何か。変わるもの、変わらないものとは何か。そして未来の私たちはどうあるべきか。テクノロジーの急速な進化、グローバリズムの功罪、絶えず揺らぐ価値観の中で、生と社会を見つめ直し、新しい「人間らしさ」の可能性を探ります。未来を夢見た過去と、過去を問いつ返す未来。——ふたつの大阪万博の間に広がる時間の海で、世代を超えたアーティストたちの映像、写真、彫刻、絵画、インスタレーションや芸術実践を通して、人間の本质をめぐる静かで鋭い問いかけの旅航へと誘います。

キュレーター:

岸本光大

アーティスト:

シウソウ・アツチ・ガリバー | 石原友明 | 金氏徹平 | 釜ヶ崎芸術大学 | 川田知志 | 金サジ | 畑祥雄 + 江夏正晃 + 江夏由洋 | 吉田桃子

休館日:

月(祝日の場合は翌火曜、7/21・22 OPEN)



第6章 クリエイティブ・エコノミーと地球の未来

日韓合同の国際アートフェア「Study × PLAS : Asia Art Fair」

会場: **大阪国際会議場(グランキューブ大阪)**

Dates: **7/21-7/23**

・日韓合同の国際アートフェア「Study × PLAS : Asia Art Fair」

・Study:サイエンス・アートアワード Supported by ロート製薬株式会社

・シンポジウム「Study × PLAS Meeting:アート&インパクト、我々(地球)はどこへ行くのか」

・クリエイティブ・エコノミー特化型ビジネスコンテスト「StARTs UPS」



第7章 コラボレーション

背中に結んだリボン(こけし灯籠)

会場: **国立民族学博物館(万博記念公園内)**

Dates: **4/11-10/13**
10:00-17:00

※7/23・7/30までは展示されておりません。

1970年大阪万博の記念の地である「万博記念公園」に位置する「国立民族学博物館(みんぱく)」に、のんのリボンアートと、東北の伝統工芸「こけし灯籠」がコラボした作品を展示。「こけし灯籠」は、津軽の伝統工芸品である「津軽こけし」の形をモチーフにした灯籠です。今回の展示では高さ180cmのこけし灯籠5体を展示。のんのデザイン画を元に、工芸品の職人が絵付けをし、のんがRibbonを纏わせました。

キュレーター:

仲野泰生

アーティスト:

のん

休館日:

料金:
無料期間 | 4/11-7/22
有料期間 | 7/31-10/13



※詳細については公式WEBサイトをご確認ください。

EUROPEAN DIGITAL ART EXPERIENCE : THE IMMERSIVE IN OSAKA 2025

会場: **シーサイドスタジオ CASO**

「シーサイドスタジオCASOでの5月の展示の様子」

本展では、ビデオマッピングやライトアートなど最先端の没入型アートを紹介。国際的な芸術祭で受賞歴のあるイタリア・フィレンツェ拠点のTHE FAKE FACTORY創設者であるアーティストStefano FAKEがヨーロッパの最新デジタルアートのアーティストコレクティブという形で、音・映像を駆使し、鑑賞者を作品の一部へと導きます。フィジカル技術を活用し、光を通して物理的世界と結びつき、鑑賞者に美的に洗練された感覚体験をもたらします。



※詳細については公式WEBサイトをご確認ください。

